

長田中だより

令和8年9月1日

第8号

校長 藤田 明子

少年の主張
県大会
スタッフ



どこに架けた？

どうやって架けた？ 君の橋

2学期は、「自分探しの旅 第二章」の始まりです。第一章で、「橋を架けた人」「架けてはいないがここに橋をかけてみようか」と考えを巡らしている人。どう生きていくかは人それぞれです。

私はいくつかの橋を架けてみました。「新しい生徒・先生方への橋」、「長田地区への橋」、「働く地域の大人との橋」。それぞれが初めてのことで不安や迷いがありましたが、勇気を出して一歩踏み出してみてよかったです。理由は・・・

○素直で優しく、出会った人にさわやかな挨拶ができる長田の子どもたちに出会えたから

○長田の大人って、誰に出会っても優しい。子どもたちのことをとても大切に考えてくれている。伝統を大切にしていって美しい心の持ち主の皆様と出会えたから。

○新しい人との出会いって楽しい。「市役所食堂」「ゆたか荘」「長崎日大高校食堂」「道の駅251」ワールドカフェで出会う働く大人。橋を架けることで知り合いが増え、自分の価値観に変化があり、なんでも挑戦してみようと思えました。

どれも、長田中学校に赴任することができたからこそ、橋を架けることができました。

橋の本数を競うのではなく、「どのようなことに」「どうやって」橋を架けるかが大切です。勇気を出して一歩踏み出してみましよう。そこには、自分が知らなかった新しい世界が待っています。長田中学校は、みなさんの「橋」を全力で応援します。

自分探しの旅 第二章スタートです。

夏休みの活躍



少年の主張
県大会、見事こころ
ねっこ賞の受賞

長田夏祭りで、
「たまねぎの歌」
と「がらちう」を
披露



先生 最高
紫雲エイサー



二年生作品。廊下
に掲示。癒されま
す。



上3枚、左1枚
御手水の観音祭り
素晴らしい踊りで
した。感動！